

VII 観光動態調査ルート分析

1. はじめに

● 報告書について

この報告書は令和6年に行われた観光統計調査のデータを基に、旅行者が立ち寄った県内市町村の割合を発地別、年齢別、旅行形態別、旅行目的別に作成した(P132:2. 立寄り市町村割合)。また、それらを参考にして周遊性の特に高いルートを抽出、分析した(P140:3. 周遊ルート分析)ものである。

● 調査地点について

高知県内の観光地(10 地点:室戸岬、モネの庭、アンパンマンミュージアム、龍河洞、高知城、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川、足摺岬)でアンケート調査を実施している。

● 発地ブロックについて

- 旅行者の居住都道府県を地域ブロック単位でまとめ、発地ブロックと表している。
各発地ブロックは以下の通りである。

北海道・東北	:北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	:茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・新潟	:新潟県、富山県、石川県、福井県
甲信・東海	:山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	:三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	:鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	:徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	:福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
海外	:すべての海外旅行者

2. 立寄市町村割合

● 集計方法について

- 立寄市町村割合では、調査時に旅行者から回答のあった「訪問した(する予定の)観光地」のうち、観光入込客統計に関する共通基準を満たした地点を、市町村地域別に集計した。

※観光入込客統計に関する共通基準

- 非日常利用が多いと判断される地点であること。
 - 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
 - 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込数5千人以上であること。
- すべての割合データ(%表記)は、小数点以下2位で四捨五入した数値を使用している。
そのため、合計が100%にならない場合がある。
 - 立寄市町村の16地域は以下の通りである。

01 東洋・室戸	: 東洋町、室戸市
02 奈半利・田野等	: 奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村
03 安芸・芸西	: 安芸市、芸西村
04 香南	: 香南市
05 南国・香美	: 南国市、香美市
06 本山・大豊等	: 本山町、大豊町、土佐町、大川村
07 高知	: 高知市
08 いの	: いの町
09 土佐・日高	: 土佐市、日高村
10 佐川・越知等	: 佐川町、越知町、仁淀川町
11 須崎・中土佐	: 須崎市、中土佐町
12 梶原・津野	: 梶原町、津野町
13 四万十町	: 四万十町
14 黒潮・四万十市	: 黒潮町、四万十市
15 宿毛・三原	: 宿毛市、三原村
16 土佐清水・大月	: 土佐清水市、大月町

● 調査結果の概要

立寄観光地の延べ件数(P134-135)は、9,998件となり、前年度の9,972件から0.3ポイントの増加となっている。県内16地域の立寄数は、「高知」が35.5%と最も多く、次いで「南国・香美」が11.6%、「東洋・室戸」が9.0%、「いの」が8.0%、「土佐清水・大月」が7.8%と続いている。この上位5地域で全体の71.9%を占めている。

発地ブロック別(P134-135)にみると、すべてのブロックで「高知」が最も多くなっている。次いで、北海道・東北、関東、九州・沖縄は「黒潮・四万十市」、北陸・新潟は「東洋・室戸」、その他のブロックは「南国・香美」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、北海道・東北が3.8件と最も多く、四国が1.9件と最も少なくなっている。

年代別(P136)にみると、すべての年代で「高知」が最も多くなっている。次いで、10代から40代は「南国・香美」、50代と60代以上は「東洋・室戸」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、40代と50代が2.6件と最も多く、10代と30代が2.3件と最も少なくなっている。

旅行形態別(P137)にみると、すべての旅行形態で「高知」が最も多くなっている。次いで、“家族”と“友人・知人”は「南国・香美」、「その他」は「黒潮・四万十市」、「一人」は「東洋・室戸」、「団体」は同率で「奈半利・田野等」、「南国・香美」、「いの」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、“団体”が2.8件と最も多く、“その他”が1.9件と最も少なくなっている。

旅行目的別(P138-139)にみると、“神仏霊場”は「東洋・室戸」、「ワーケーション」は同率で「東洋・室戸」と「奈半利・田野等」、その他の旅行目的は「高知」が最も多くなっている。平均立寄数は、“神仏霊場”が3.1件と最も多く、“買い物”が1.7件と最も少なくなっている。

2-1. 発地別立寄市町村割合

(表 2-1)発地別立寄市町村割合(件)[発地ブロック別]

	01 東洋 室戸	02 奈半利 田野 等	03 安芸 芸西	04 香南	05 南国 香美	06 本山 大豊 等	07 高知	08 いの	09 土佐 日高	10 佐川 越知 等	11 須崎 中土佐	12 梶原 津野	13 四万 十町	14 黒潮 四万 十市	15 宿毛 三原	16 土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
北海道・東北 (n=52)	18	7		1	15		106	8	1		3	1	3	23	2	12	200	2.0	3.8
関東 (n=484)	107	70	10	21	130	4	725	108	10	12	32	24	22	146	10	116	1,547	15.5	3.2
北陸・新潟 (n=34)	10	3	1	2	6		70	6			2		3	6	2	8	119	1.2	3.5
甲信・東海 (n=201)	61	30		9	63		258	35	5	5	15	9	13	51	8	52	614	6.1	3.1
近畿 (n=838)	217	126	17	43	255	4	1,027	155	16	18	77	41	53	208	25	206	2,488	24.9	3.0
中国 (n=382)	88	59	8	27	120	3	441	79	5	10	44	8	16	64	14	106	1,092	10.9	2.9
四国 (n=1,868)	358	330	35	73	539	23	710	376	15	37	395	25	65	216	32	252	3,481	34.8	1.9
九州・沖縄 (n=136)	35	24	2	5	30		206	32		1	10	5	2	48	2	28	430	4.3	3.2
海外 (n=5)	1	2		2	4		10	1	1				1	1	1	3	27	0.3	5.4
全体 (n=4,000)	895	651	73	183	1,162	34	3,553	800	53	83	578	113	178	763	96	783	9,998	100.0	2.5

(表 2-2)発地別立寄市町村割合(%) [発地ブロック別]

	01 東洋 室戸	02 奈半利 田野 等	03 安芸 芸西	04 香南	05 南国 香美	06 本山 大豊 等	07 高知	08 いの	09 土佐 日高	10 佐川 越知 等	11 須崎 中土佐	12 梶原 津野	13 四万 十町	14 黒潮 四万 十市	15 宿毛 三原	16 土佐 清水 大月
北海道・東北 (n=52)	9.0	3.5		0.5	7.5		53.0	4.0	0.5		1.5	0.5	1.5	11.5	1.0	6.0
関東 (n=484)	6.9	4.5	0.6	1.4	8.4	0.3	46.9	7.0	0.6	0.8	2.1	1.6	1.4	9.4	0.6	7.5
北陸・新潟 (n=34)	8.4	2.5	0.8	1.7	5.0		58.8	5.0			1.7		2.5	5.0	1.7	6.7
甲信・東海 (n=201)	9.9	4.9		1.5	10.3		42.0	5.7	0.8	0.8	2.4	1.5	2.1	8.3	1.3	8.5
近畿 (n=838)	8.7	5.1	0.7	1.7	10.2	0.2	41.3	6.2	0.6	0.7	3.1	1.6	2.1	8.4	1.0	8.3
中国 (n=382)	8.1	5.4	0.7	2.5	11.0	0.3	40.4	7.2	0.5	0.9	4.0	0.7	1.5	5.9	1.3	9.7
四国 (n=1,868)	10.3	9.5	1.0	2.1	15.5	0.7	20.4	10.8	0.4	1.1	11.3	0.7	1.9	6.2	0.9	7.2
九州・沖縄 (n=136)	8.1	5.6	0.5	1.2	7.0		47.9	7.4		0.2	2.3	1.2	0.5	11.2	0.5	6.5
海外 (n=5)	3.7	7.4		7.4	14.8		37.0	3.7	3.7				3.7	3.7	3.7	11.1
全体 (n=4,000)	9.0	6.5	0.7	1.8	11.6	0.3	35.5	8.0	0.5	0.8	5.8	1.1	1.8	7.6	1.0	7.8

※ 白抜き はブロックで1位、太字 は同2位

(表 2-3)発地別立寄市町村割合(%) [四国]

	東洋 室戸	奈半利 田野 等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
徳島県 (n=172)	20.4	11.2	1.0	2.3	14.0	0.3	29.8	3.3	1.0	0.5	5.1	1.0	2.3	2.6	1.3	3.8
香川県 (n=278)	11.6	7.3	1.1	3.1	15.8	0.6	28.8	6.0	0.3	0.8	9.9	1.2	1.4	4.3	0.5	7.1
愛媛県 (n=467)	6.8	6.2	0.7	2.2	15.0	0.5	25.1	11.2	0.4	2.4	9.3	1.1	2.6	6.3	1.7	8.7
高知県 (n=951)	9.4	12.3	1.2	1.5	16.0	0.9	10.7	14.7	0.4	0.4	15.1	0.1	1.5	8.0	0.5	7.2
四国 (n=1,868)	10.3	9.5	1.0	2.1	15.5	0.7	20.4	10.8	0.4	1.1	11.3	0.7	1.9	6.2	0.9	7.2

・立寄観光地の延べ件数

すべての旅行者が立寄った観光地は全体で 9,998 件となっている。発地ブロック別にみると、“四国”が 3,481 件(34.8%)と最も多く、次いで、“近畿”が 2,488 件(24.9%)、“関東”が 1,547 件(15.5%)、“中国”が 1,092 件(10.9%)と続いている。

平均立寄数は全体で 2.5 件となっている。発地ブロック別にみると、“北海道・東北”が 3.8 件と最も多く、次いで、“北陸・新潟”が 3.5 件、“関東”と“九州・沖縄”が 3.2 件、“甲信・東海”が 3.1 件、“近畿”が 3.0 件と続いており、“四国”が 1.9 件と最も少なくなっている。

・上位を占めた立寄市町村

立寄った観光地の市町村をみると、「高知」が 3,553 件(35.5%)と最も多く、次いで「南国・香美」が 1,162 件(11.6%)、「東洋・室戸」が 895 件(9.0%)、「いの」が 800 件(8.0%)、「土佐清水・大月」が 783 件(7.8%)と続いている。

・発地ブロックごとの立寄市町村の傾向

立寄った観光地の市町村を発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」が最も多くなっている。2番目に多くなった市町村は、“北海道・東北”、“関東”、“九州・沖縄”が「黒潮・四万十市」、「北陸・新潟」が「東洋・室戸」、その他のブロックが「南国・香美」となっている。

なお、“県内旅行者”は「南国・香美」「須崎・中土佐」「いの」の順で多くなっている(P134:表 2-3)。

2-2. 年代別立寄市町村割合

(表 2-4)年代別立寄市町村割合(件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=71)	14	4		2	17		87	13	1	1	3		4	9		11	166	1.7	2.3
20代 (n=454)	87	64	4	12	151	3	442	83	4	11	41	21	13	81	5	102	1,124	11.2	2.5
30代 (n=653)	105	66	8	43	309	3	566	110	2	17	67	25	15	104	3	89	1,532	15.3	2.3
40代 (n=815)	169	90	8	35	277	6	840	158	9	17	116	23	31	150	13	139	2,081	20.8	2.6
50代 (n=1,038)	258	193	25	50	225	15	964	218	7	19	173	32	48	225	23	233	2,708	27.1	2.6
60代以上 (n=969)	262	234	28	41	183	7	654	218	30	18	178	12	67	194	52	209	2,387	23.9	2.5
全体 (n=4,000)	895	651	73	183	1,162	34	3,553	800	53	83	578	113	178	763	96	783	9,998	100.0	2.5

(表 2-5)年代別立寄市町村割合(%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=71)	8.4	2.4		1.2	10.2		52.4	7.8	0.6	0.6	1.8		2.4	5.4		6.6			
20代 (n=454)	7.7	5.7	0.4	1.1	13.4	0.3	39.3	7.4	0.4	1.0	3.6	1.9	1.2	7.2	0.4	9.1			
30代 (n=653)	6.9	4.3	0.5	2.8	20.2	0.2	36.9	7.2	0.1	1.1	4.4	1.6	1.0	6.8	0.2	5.8			
40代 (n=815)	8.1	4.3	0.4	1.7	13.3	0.3	40.4	7.6	0.4	0.8	5.6	1.1	1.5	7.2	0.6	6.7			
50代 (n=1,038)	9.5	7.1	0.9	1.8	8.3	0.6	35.6	8.1	0.3	0.7	6.4	1.2	1.8	8.3	0.8	8.6			
60代以上 (n=969)	11.0	9.8	1.2	1.7	7.7	0.3	27.4	9.1	1.3	0.8	7.5	0.5	2.8	8.1	2.2	8.8			
全体 (n=4,000)	9.0	6.5	0.7	1.8	11.6	0.3	35.5	8.0	0.5	0.8	5.8	1.1	1.8	7.6	1.0	7.8			

※ 白抜き は年代で1位、太字 は同2位

・立寄観光地の延べ件数

年代別に立寄った観光地をみると、50代が2,708件(27.1%)と最も多く、次いで、60代以上が2,387件(23.9%)、40代が2,081件(20.8%)、30代が1,532件(15.3%)、20代が1,124件(11.2%)、10代が166件(1.7%)と続いている。

平均立寄数は、40代と50代が2.6件と最も多く、次いで20代と60代以上が2.5件、10代と30代が2.3件と続いている。

・年代ごとの立寄市町村の傾向

すべての年代で「高知」が最も多く、若年層のほうが占める割合は多くなっている。次いで、10代から40代までは「南国・香美」が、50代と60代以上は「東洋・室戸」が多くなっている。

- 10代:「高知」で年代別の1位となっている。
- 20代:「土佐清水・大月」「梶原・津野」で年代別の1位となっている。
- 30代:「香南」「南国・香美」「佐川・越知等」で年代別の1位となっている。
- 40代:「高知」で年代別の2位となっている。
- 50代:「本山・大豊等」「黒潮・四万十市」で年代別の1位となっている。
- 60代以上:「東洋・室戸」「奈半利・田野等」「いの」などで年代別の1位となっている。

2-3. 旅行形態別立寄り市町村割合

(表 2-6)旅行形態別立寄り市町村割合(件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,792)	582	470	52	148	928	20	2,546	560	34	65	431	55	121	502	65	511	7,090	70.9	2.5
友人・知人 (n=473)	109	69	13	12	120	10	460	114	3	7	80	24	19	96	3	98	1,237	12.4	2.6
団体 (n=24)		5			5		46	5			1			3		3	68	0.7	2.8
その他 (n=29)	6	2		1	8		21				3			12		1	54	0.5	1.9
一人 (n=682)	198	105	8	22	101	4	480	121	16	11	63	34	38	150	28	170	1,549	15.5	2.3
全体 (n=4,000)	895	651	73	183	1,162	34	3,553	800	53	83	578	113	178	763	96	783	9,998	100.0	2.5

(表 2-7)旅行形態別立寄り市町村割合(%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,792)	8.2	6.6	0.7	2.1	13.1	0.3	35.9	7.9	0.5	0.9	6.1	0.8	1.7	7.1	0.9	7.2			
友人・知人 (n=473)	8.8	5.6	1.1	1.0	9.7	0.8	37.2	9.2	0.2	0.6	6.5	1.9	1.5	7.8	0.2	7.9			
団体 (n=24)		7.4			7.4		67.6	7.4			1.5			4.4		4.4			
その他 (n=29)	11.1	3.7		1.9	14.8		38.9				5.6			22.2		1.9			
一人 (n=682)	12.8	6.8	0.5	1.4	6.5	0.3	31.0	7.8	1.0	0.7	4.1	2.2	2.5	9.7	1.8	11.0			
全体 (n=4,000)	9.0	6.5	0.7	1.8	11.6	0.3	35.5	8.0	0.5	0.8	5.8	1.1	1.8	7.6	1.0	7.8			

※ 白抜き は旅行形態で1位、太字 は同2位

・立寄観光地の延べ件数

旅行形態別に立寄った観光地をみると、“家族”が7,090件(70.9%)と最も多く、次いで、“一人”が1,549件(15.5%)、“友人・知人”が1,237件(12.4%)、“団体”が68件(0.7%)、“その他”が54件(0.5%)と続いている。

平均立寄数は、“団体”が2.8件と最も多く、次いで、“友人・知人”が2.6件、“家族”が2.5件、“一人”が2.3件、“その他”が1.9件と続いている。

・旅行形態ごとの立寄り市町村の傾向

すべての旅行形態で「高知」が最も多く、次いで、“家族”と“友人・知人”が「南国・香美」、「その他」が「黒潮・四万十市」、「一人」が「東洋・室戸」、「団体」が同率で「奈半利・田野等」、「南国・香美」、「いの」と続いている。

- 家族:「香南」「佐川・越知等」で旅行形態別の1位となっている。
- 友人・知人:「安芸・芸西」「いの」「須崎・中土佐」などで旅行形態別の1位となっている。
- 団体:「高知」で全体平均を上回っている。
- その他:「南国・香美」「黒潮・四万十市」で旅行形態別の1位となっている。
- 一人:「東洋・室戸」「四万十町」「土佐清水・大月」などで旅行形態別の1位となっている。

2-4. 旅行目的別立寄り市町村割合

(表 2-8)旅行目的別立寄り市町村割合(件)

	01 東洋 室戸	02 奈半利 田野 等	03 安芸 芸西	04 香南	05 南国 香美	06 本山 大豊 等	07 高知	08 いの	09 土佐 日高	10 佐川 越知 等	11 須崎 中土佐	12 梶原 津野	13 四万 十町	14 黒潮 四万 十市	15 宿毛 三原	16 土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
自然見物 (n=862)	201	318	38	28	176	4	667	192	2	26	40	41	20	216	8	241	2,218	22.2	2.6
休養 (n=143)	28	29	3	5	21	2	98	45	1	1	55	3	3	19		18	331	3.3	2.3
祭り (n=111)	7	22	1	3	59	2	85	13		1	2	1	1	8		10	215	2.2	1.9
アウトドア (n=117)	17	8	4	6	17	1	80	45		2	10	2	8	49		29	278	2.8	2.4
スポーツ (n=9)	4			3	4		8	1			1	1		3		1	26	0.3	2.9
食べ物 (n=738)	126	54	3	24	163	4	952	172	2	16	274	16	19	101	4	101	2,031	20.3	2.8
神仏霊場 (n=235)	128	64		31	71		89	9	42	1	14	1	78	13	75	119	735	7.4	3.1
買い物 (n=212)	52	9	2	2	10	1	72	64		5	65	2	6	56	1	9	356	3.6	1.7
名所旧跡 (n=776)	115	70	15	43	476	4	942	96	2	14	16	10	11	81	4	98	1,997	20.0	2.6
なんとなく (n=316)	127	32	5	9	34	13	136	83	1	7	39	29	13	78	2	93	701	7.0	2.2
ワーケーション (n=1)	1	1															2		2.0
観光・その他 (n=30)	4	2		3	9		32	3		1	4			7		1	66	0.7	2.2
帰省・仕事 (n=402)	74	37	2	26	112	3	359	67	3	9	56	7	17	123	2	61	958	9.6	2.4
その他 (n=48)	11	5			10		33	10			2		2	9		2	84	0.8	1.8
全体 (n=4,000)	895	651	73	183	1,162	34	3,553	800	53	83	578	113	178	763	96	783	9,998	100.0	2.5

(表 2-9)旅行目的別立寄り市町村割合(%)

	01 東洋 室戸	02 奈半利 田野 等	03 安芸 芸西	04 香南	05 南国 香美	06 本山 大豊 等	07 高知	08 いの	09 土佐 日高	10 佐川 越知 等	11 須崎 中土佐	12 梶原 津野	13 四万 十町	14 黒潮 四万 十市	15 宿毛 三原	16 土佐 清水 大月			
自然見物 (n=862)	9.1	14.3	1.7	1.3	7.9	0.2	30.1	8.7	0.1	1.2	1.8	1.8	0.9	9.7	0.4	10.9			
休養 (n=143)	8.5	8.8	0.9	1.5	6.3	0.6	29.6	13.6	0.3	0.3	16.6	0.9	0.9	5.7		5.4			
祭り (n=111)	3.3	10.2	0.5	1.4	27.4	0.9	39.5	6.0		0.5	0.9	0.5	0.5	3.7		4.7			
アウトドア (n=117)	6.1	2.9	1.4	2.2	6.1	0.4	28.8	16.2		0.7	3.6	0.7	2.9	17.6		10.4			
スポーツ (n=9)	15.4			11.5	15.4		30.8	3.8			3.8	3.8		11.5		3.8			
食べ物 (n=738)	6.2	2.7	0.1	1.2	8.0	0.2	46.9	8.5	0.1	0.8	13.5	0.8	0.9	5.0	0.2	5.0			
神仏霊場 (n=235)	17.4	8.7		4.2	9.7		12.1	1.2	5.7	0.1	1.9	0.1	10.6	1.8	10.2	16.2			
買い物 (n=212)	14.6	2.5	0.6	0.6	2.8	0.3	20.2	18.0		1.4	18.3	0.6	1.7	15.7	0.3	2.5			
名所旧跡 (n=776)	5.8	3.5	0.8	2.2	23.8	0.2	47.2	4.8	0.1	0.7	0.8	0.5	0.6	4.1	0.2	4.9			
なんとなく (n=316)	18.1	4.6	0.7	1.3	4.9	1.9	19.4	11.8	0.1	1.0	5.6	4.1	1.9	11.1	0.3	13.3			
ワーケーション (n=1)	50.0	50.0																	
観光・その他 (n=30)	6.1	3.0		4.5	13.6		48.5	4.5		1.5	6.1			10.6		1.5			
帰省・仕事 (n=402)	7.7	3.9	0.2	2.7	11.7	0.3	37.5	7.0	0.3	0.9	5.8	0.7	1.8	12.8	0.2	6.4			
その他 (n=48)	13.1	6.0			11.9		39.3	11.9			2.4		2.4	10.7		2.4			
全体 (n=4,000)	9.0	6.5	0.7	1.8	11.6	0.3	35.5	8.0	0.5	0.8	5.8	1.1	1.8	7.6	1.0	7.8			

※ 白抜き は旅行目的で 1 位、太字 は同 2 位

・立寄観光地の延べ件数

旅行目的別に立寄った観光地をみると、“自然見物”が 2,218 件(22.2%)と最も多く、次いで、“食べ物”が 2,031 件(20.3%)、“名所旧跡”が 1,997 件(20.0%)、“帰省・仕事”が 958 件(9.6%)、“神仏霊場”が 735 件(7.4%)などと続いている。

平均立寄数は、“神仏霊場”が 3.1 件と最も多く、次いで、“スポーツ”が 2.9 件、“食べ物”が 2.8 件、“自然見物”と“名所旧跡”が 2.6 件、“帰省・仕事”と“アウトドア”が 2.4 件などと続いている。

・旅行目的ごとの立寄市町村の傾向

大半の旅行目的で「高知」が最も多い割合を占めているが、“神仏霊場”は「東洋・室戸」が最も多くなっている。

次いで、“祭り”、“名所旧跡”、“観光・その他”は「南国・香美」が、“買い物”、“休養”、“食べ物”は「須崎・中土佐」が、“アウトドア”と“帰省・仕事”は「黒潮・四万十市」が、“なんとなく”と“その他”は「東洋・室戸」が、“神仏霊場”は「土佐清水・大月」が、“自然見物”は「奈半利・田野等」が、“スポーツ”は同率で「東洋・室戸」と「南国・香美」がそれぞれ2番目に多くなっている。

- 自然見物(n=862) : 「奈半利・田野等」などで全体平均を上回り、「高知」で下回っている。
- 名所旧跡(n=776) : 「高知」と「南国・香美」で旅行目的別の2位となっている。
- 食べ物(n=738) : 「高知」と「須崎・中土佐」などで全体平均を上回っている。
- 帰省・仕事(n=402) : 「黒潮・四万十市」などで全体平均を上回っている。
- なんとなく(n=316) : 「梶原・津野」「本山・大豊等」で旅行目的別の1位となっている。
- 神仏霊場(n=235) : 「土佐清水・大月」「四万十町」「宿毛・三原」などで旅行目的別の1位となっている。
- 買い物(n=212) : 「須崎・中土佐」と「いの」で旅行目的別の1位となっている。
- 休養(n=143) : 「須崎・中土佐」と「いの」などで全体平均を上回っている。
- アウトドア(n=117) : 「黒潮・四万十市」で旅行目的別の1位となっている。
- 祭り(n=111) : 「南国・香美」で旅行目的別の1位となっている。

3. 周遊ルート分析

- 報告内容について

この項目では、令和6年観光統計調査で得られた、「訪問した(する予定の)観光地」データを基に、旅行者(発地ブロック別、旅行形態別)がどのような順序でどの県内地域を観光したか、その周遊性の高いルートを分析している。

- 集計方法について

- ・ 「訪問した(する予定の)観光地」を下記の周遊7エリアで集計し、傾向の似通ったルートを抽出している。
- ・ 周遊ルートの傾向をより分かりやすくするため、訪問した周遊エリアで連続したデータは省略している。
※例 「高知市」-「高知市」-「東部」の場合、「高知市」-「東部」として集計。
- ・ 発地ブロック別分析では、北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外の5ブロックからは入込が少数のため、この5ブロックを合計し、“その他の地域ブロック”として集計している。
- ・ 県内旅行者の周遊ルートは居住地や調査地等の影響を強く受けているため、全体および四国ブロックから除外し、単独で集計している。

- 周遊7エリア

東部 : 東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、安芸市、芸西村、馬路村
物部川 : 香南市、南国市、香美市
高知市 : 高知市
仁淀川 : いの町、土佐市、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町
高幡 : 須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町
幡多 : 四万十市、黒潮町、宿毛市、三原村、土佐清水市、大月町
嶺北 : 本山町、大豊町、土佐町、大川村

● 調査結果の概要

県外旅行者全体の周遊ルート(P142)は、「高知市」のみが 12.9%と最も多く、上位4位までを単一エリアで観光を終える周遊ルートが占めている。他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

発地別での傾向

- **四国**:周遊ルート上位 10 位を県外の各発地ブロックと比較すると、「東部」、「物部川」、「幡多」の単一エリアで観光を終える周遊ルートは最も多く、「高知市」のみ、「高知市」と「幡多」などを組み合わせた周遊ルートは最も少ない。(P144・145)
- **近畿**:周遊ルート上位 10 位を県外の各発地ブロックと比較すると、「幡多」は四国に次いで多く、「物部川」は関東に次いで少ない。(P146・147)
- **中国**:周遊ルート上位 10 位を県外の各発地ブロックと比較すると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートは最も多い。(P148・149)
- **関東**:周遊ルート上位 10 位を県外の各発地ブロックと比較すると、「高知市」のみと「東部→高知市」は最も多く、「幡多」のみ、「物部川」のみ、「物部川→高知市」は最も少ない。(P150・151)
- **その他の地域ブロック**:周遊ルート上位 10 位を県外の各発地ブロックと比較すると、「高知市」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートと「高知市→東部」は最も多く、「東部」のみ、「高知市→物部川」、「東部→高知市」は最も少ない。(P152・153)
- **高知県**:単一エリアで観光を終える周遊ルートで 90.5%を占め、他エリアへの移動を伴う周遊ルートの割合はわずかとなっている。(P154・155)

旅行形態別での傾向

- **家族**:単一エリアで観光を終える周遊ルートでおよそ半数を占める。周遊ルート上位 10 位を各旅行形態と比較すると、「物部川」のみと「高知市→幡多」は最も多く、「東部→高知市」と「幡多→高知市」は最も少ない。(P156・157)
- **友人・知人**:単一エリアで観光を終える周遊ルートでおよそ半数を占める。周遊ルート上位 10 位を各旅行形態と比較すると、「物部川→高知市」は最も多く、「高知市」のみは最も少ない。(P158・159)
- **団体**:周遊ルート上位 10 位を各旅行形態と比較すると、「高知市」のみと「高知市」と他エリアを組み合わせた周遊ルートが多くなっている一方で、「幡多」のみと「東部」のみは最も少ない。(P160・161)
- **一人**:単一エリアで観光を終えるルートで 63.8%を占める。周遊ルート上位 10 位を各旅行形態と比較すると、「幡多」のみと「東部」のみは最も多く、「物部川」のみ、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートなどは最も少ない。(P162・163)

3-1. 発地別周遊ルート

3-1-1. 県外旅行者全体

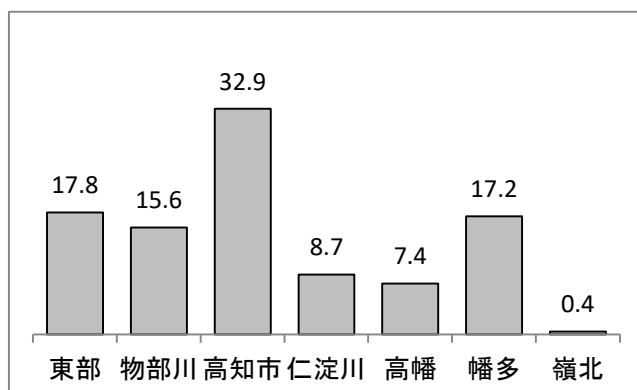
(表 3-1)周遊ルート上位 10 位(件・%) [県外全体]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					394	12.9%
幡多					286	9.4%
東部					253	8.3%
物部川					191	6.3%
物部川	→	高知市			159	5.2%
高知市	→	物部川			147	4.8%
高知市	→	東部			102	3.3%
東部	→	高知市			92	3.0%
幡多	→	高知市			91	3.0%
高知市	→	幡多			88	2.9%

県外旅行者 3,049 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 12.9%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 9.4%、「東部」のみが 8.3%、「物部川」のみが 6.3%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位4位までを占めている。

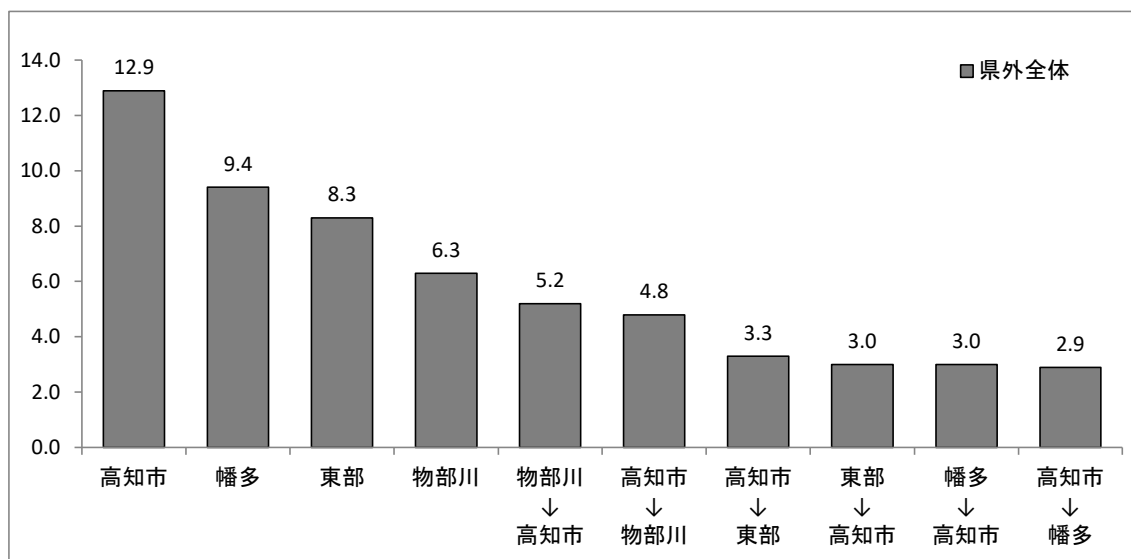
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが合計 10.0%、「高知市」と「東部」の組み合わせが合計 6.3%、「高知市」と「幡多」の組み合わせが合計 5.9%と続いている。

(図 3-2)周遊ルート of 玄関口(%) [県外全体]



旅行中に最初に立ち寄ったエリアは、「高知市」が 32.9%と最も多く、次いで、「東部」が 17.8%、「幡多」が 17.2%、「物部川」が 15.6%、「仁淀川」が 8.7%、「高幡」が 7.4%、「嶺北」が 0.4%と続いている。

(図 3-3)周遊ルート上位 10 位(%) [県外全体]



3-1-2. 四国

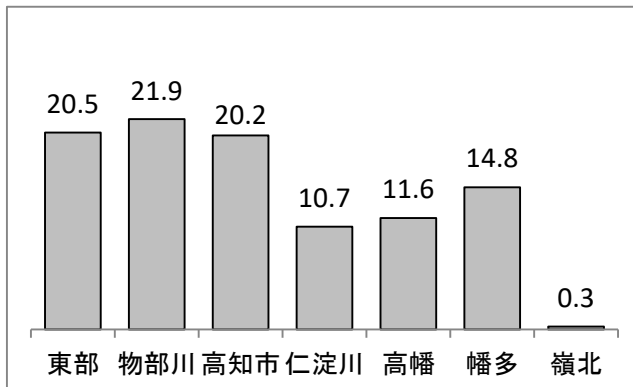
(表 3-4)周遊ルート上位 10 位(件・%) [四国3県]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
東部	134	14.6%
物部川	113	12.3%
幡多	99	10.8%
高知市	89	9.7%
高幡	55	6.0%
仁淀川	50	5.5%
物部川 → 高知市	45	4.9%
高知市 → 物部川	38	4.1%
東部 → 高知市	22	2.4%
高知市 → 東部	18	2.0%

高知県をのぞく四国3県の旅行者 917 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみで観光を終える割合が 14.6%と最も多く、次いで、「物部川」のみが 12.3%、「幡多」のみが 10.8%、「高知市」のみが 9.7%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位6位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが合計 9.0%、「高知市」と「東部」の組み合わせが合計 4.4%と続いている。

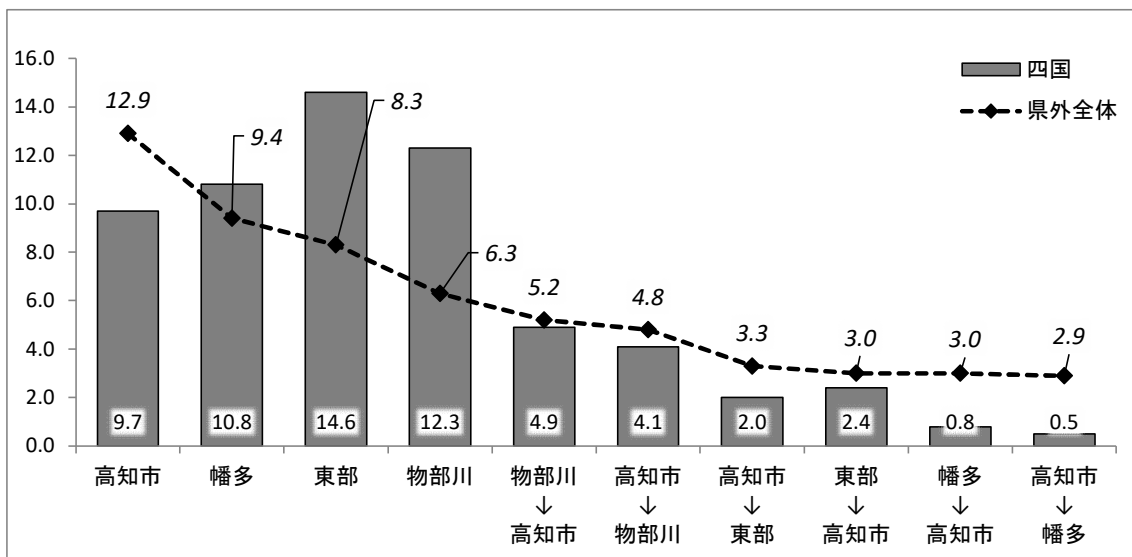
(図 3-5)周遊ルート of 玄関口(%) [四国3県]



旅行中に最初に立ち寄った周遊エリアは、「物部川」が 21.9%と最も多く、次いで、「東部」が 20.5%、「高知市」が 20.2%、「幡多」が 14.8%、「高幡」が 11.6%、「仁淀川」が 10.7%、「嶺北」が 0.3%と続いている。

なお、県外の各発地ブロックと比較すると、「東部」、「物部川」、「仁淀川」、「高幡」の割合が最も多くなっている(P164:参考 1)。

(図 3-6)県外全体の上位 10 位との比較(%) [四国3県]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「東部」、「物部川」の単一エリアで観光を終える周遊ルートが目立って多くなっている一方で、「高知市」のみや「高知市」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートなどが少なくなっている。

3-1-3. 近畿

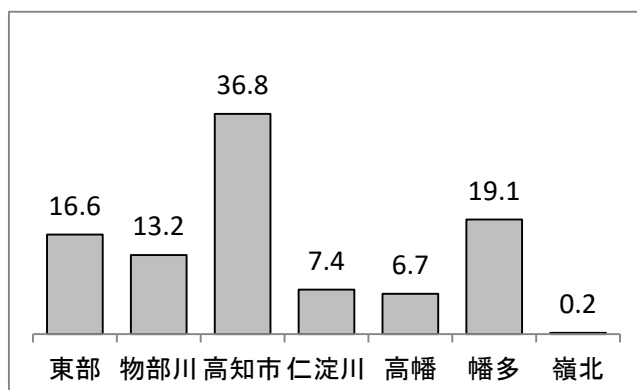
(表 3-7)周遊ルート上位 10 位(件・%) [近畿]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	115	13.7%
幡多	87	10.4%
東部	55	6.6%
物部川 → 高知市	46	5.5%
高知市 → 物部川	46	5.5%
高知市 → 東部	33	3.9%
物部川	32	3.8%
幡多 → 高知市	28	3.3%
高知市 → 仁淀川	26	3.1%
東部 → 高知市	21	2.5%

近畿ブロックの旅行者 838 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 13.7%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 10.4%、「東部」のみが 6.6%、「物部川→高知市」と「高知市→物部川」が 5.5%と続いている。

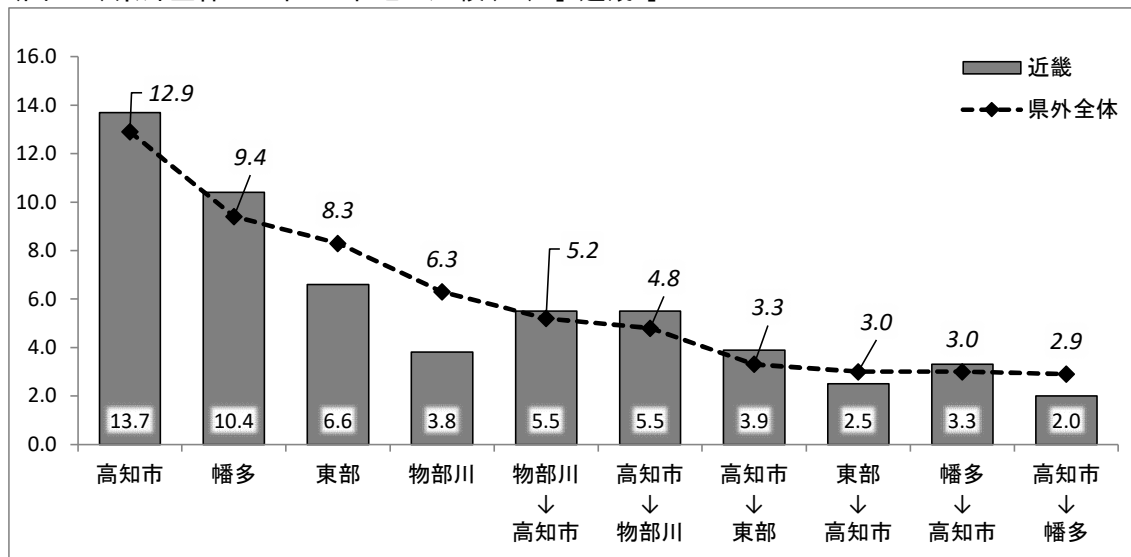
他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが合計 11.0%、「高知市」と「東部」の組み合わせが合計 6.4%、「幡多→高知市」が 3.3%、「高知市→仁淀川」が 3.1%となっている。

(図 3-8)周遊ルート of 玄関口(%) [近畿]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 36.8%と最も多く、次いで、「幡多」が 19.1%、「東部」が 16.6%、「物部川」が 13.2%、「仁淀川」が 7.4%、「高幡」が 6.7%、「嶺北」が 0.2%と続いている。

(図 3-9)県外全体の上位 10 位との比較(%) [近畿]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「幡多」、「高知市」の単一エリアで観光を終える周遊ルートなどが多くなっている一方で、「物部川」のみや「東部」のみなどが少なくなっている。

3-1-4. 中国

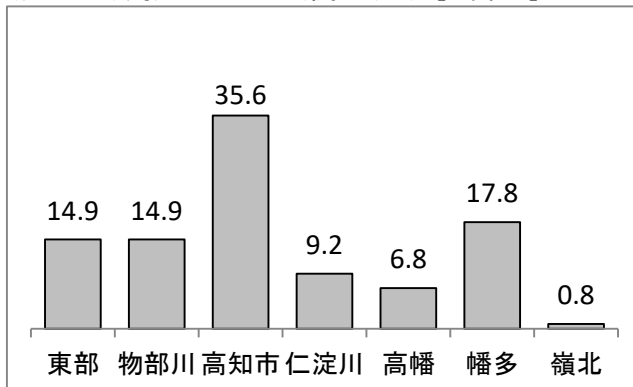
(表 3-10)周遊ルート上位 10 位(件・%) [中国]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	55	14.4%
幡多	35	9.2%
物部川 → 高知市	25	6.5%
東部	23	6.0%
高知市 → 物部川	23	6.0%
物部川	18	4.7%
東部 → 高知市	18	4.7%
高知市 → 幡多	14	3.7%
高知市 → 東部	13	3.4%
(対象多数のため省略)	12	3.1%

中国ブロックの旅行者 382 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 14.4%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 9.2%、「物部川→高知市」が 6.5%、「東部」のみと「高知市→物部川」が 6.0%と続いている。

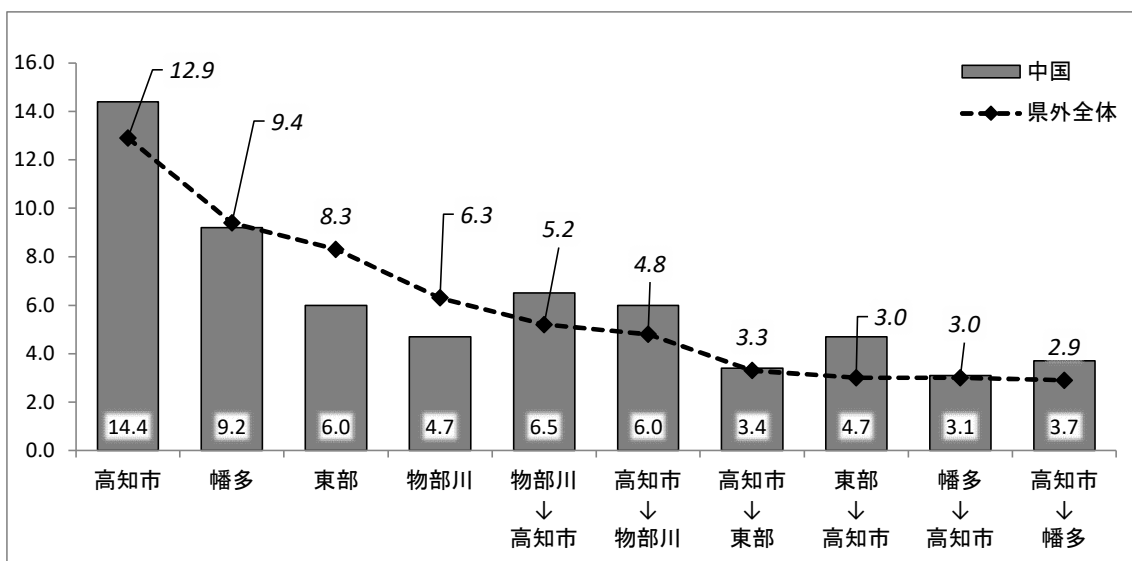
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが合計 12.5%、「高知市」と「東部」の組み合わせが合計 8.1%、「高知市→幡多」が 3.7%となっている。

(図 3-11)周遊ルート of 玄関口(%) [中国]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 35.6%と最も多く、次いで、「幡多」が 17.8%、「東部」と「物部川」が 14.9%、「仁淀川」が 9.2%、「高幡」が 6.8%、「嶺北」が 0.8%と続いている。なお、県外の各発地ブロックと比較すると、「嶺北」の割合が最も多くなっている(P164:参考 1)。

(図 3-12)県外全体の上位 10 位との比較(%) [中国]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルート、「東部→高知市」、「高知市」の単一エリアで観光を終える周遊ルートなどが多くなっている一方で、「東部」のみや「物部川」のみなどが少なくなっている。

3-1-5. 関東

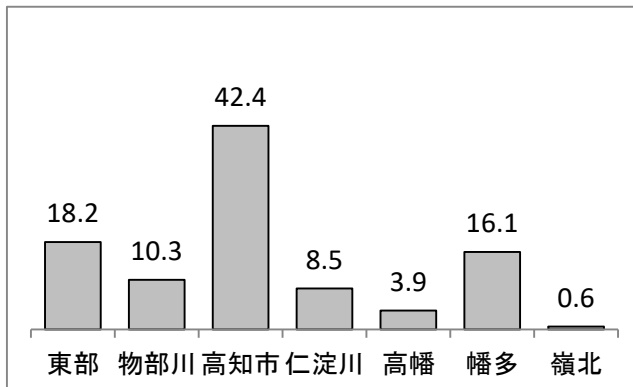
(表 3-13)周遊ルート上位 10 位(件・%) [関東]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	74	15.3%
幡多	28	5.8%
高知市 → 物部川	26	5.4%
高知市 → 幡多	25	5.2%
東部 → 高知市	23	4.8%
幡多 → 高知市	23	4.8%
東部	22	4.5%
物部川 → 高知市	21	4.3%
高知市 → 東部	19	3.9%
仁淀川 → 高知市	12	2.5%

関東ブロックの旅行者 484 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 15.3%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 5.8%、「高知市→物部川」が 5.4%、「高知市→幡多」が 5.2%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートが合計 10.0%、「高知市」と「物部川」の組み合わせが合計 9.7%、「高知市」と「東部」の組み合わせが合計 8.7%となっている。

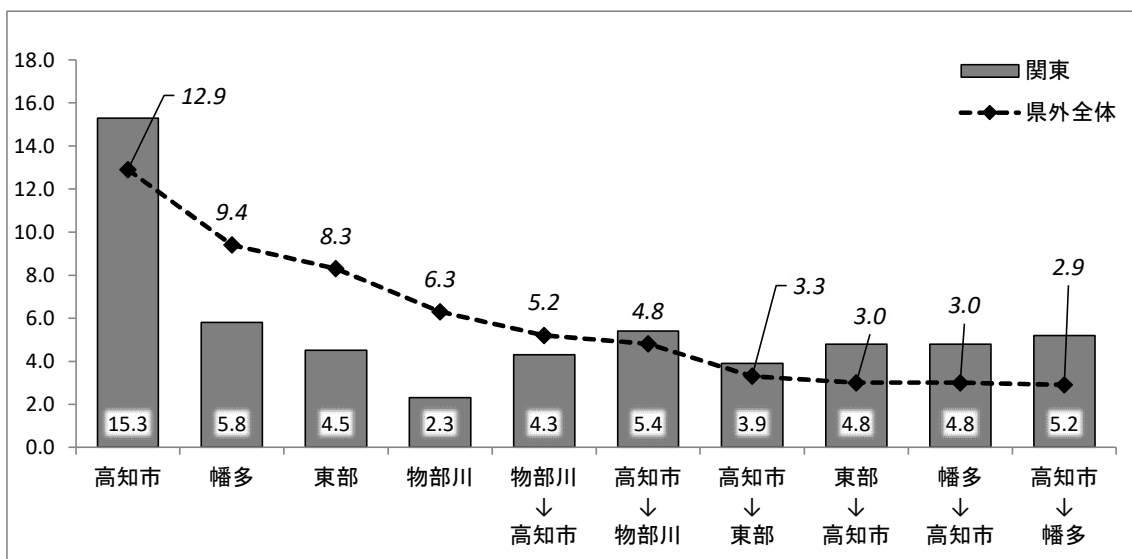
(図 3-14)周遊ルート of 玄関口(%) [関東]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 42.4%と最も多く、次いで「東部」が 18.2%、「幡多」が 16.1%、「物部川」が 10.3%、「仁淀川」が 8.5%、「高幡」が 3.9%、「嶺北」が 0.6%と続いている。

なお、県外の各発地ブロックと比較すると、「高知市」の割合が最も多くなっている(P164:参考1)。

(図 3-15)県外全体の上位 10 位との比較(%) [関東]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、単一エリアで観光を終える周遊ルートでは、「高知市」のみが目立って多くなっている一方で、その他の単一エリアは少なくなっている。また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートや「東部→高知市」などが多くなっている一方で、「物部川→高知市」は少なくなっている。

3-1-6. その他の地域ブロック(北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外)

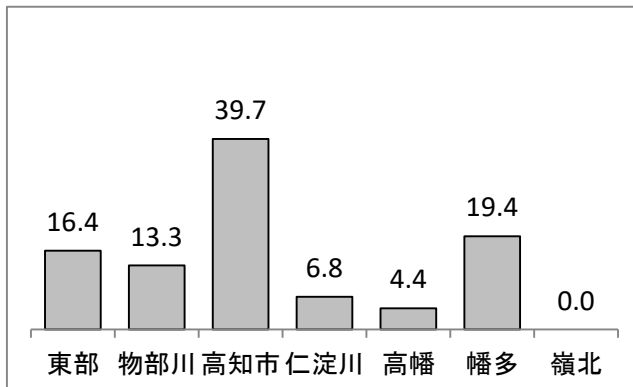
(表 3-16)周遊ルート上位 10 位(件・%) [その他の地域ブロック]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					61	14.3%
幡多					37	8.6%
高知市	→	幡多			27	6.3%
物部川	→	高知市			22	5.1%
幡多	→	高知市			21	4.9%
東部					19	4.4%
高知市	→	東部			19	4.4%
物部川					17	4.0%
高知市	→	物部川			14	3.3%
高知市	→	仁淀川			14	3.3%

その他の地域ブロックの旅行者 428 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 14.3%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 8.6%、「高知市→幡多」が 6.3%、「物部川→高知市」が 5.1%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートが合計 11.2%、「高知市」と「物部川」の組み合わせが合計 8.4%、「高知市→東部」が 4.4%となっている。

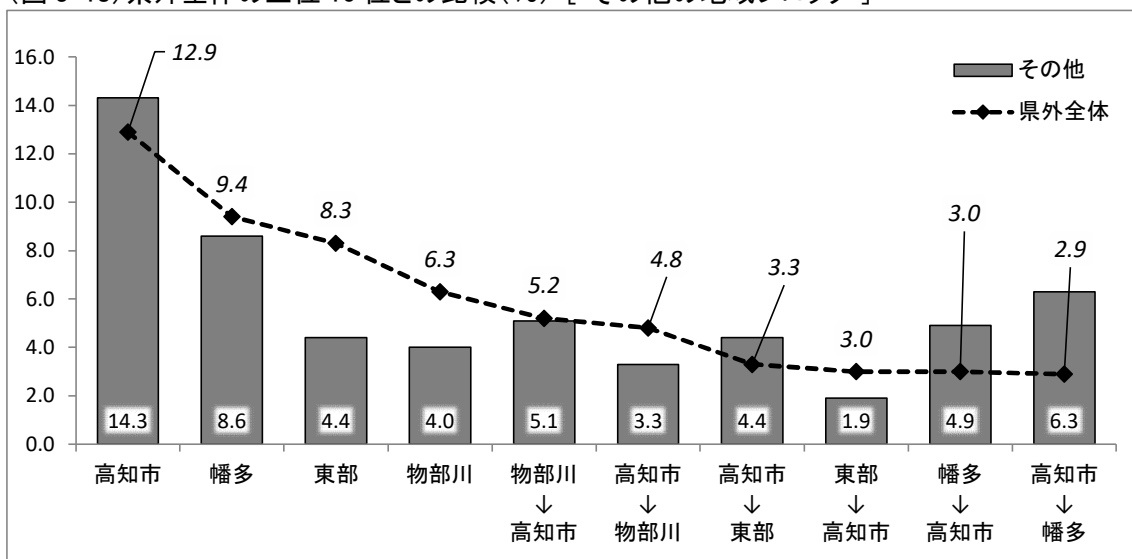
(図 3-17)周遊ルートの玄関口(%) [その他の地域ブロック]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 39.7%と最も多く、次いで、「幡多」が 19.4%、「東部」が 16.4%、「物部川」が 13.3%、「仁淀川」が 6.8%、「高幡」が 4.4%と続いている。

なお、県外の各発地ブロックと比較すると、「幡多」の割合が最も多くなっている(P164: 参考 1)。

(図 3-18)県外全体の上位 10 位との比較(%) [その他の地域ブロック]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートや「高知市」の単一エリアで観光を終える周遊ルートなどが多くなっている一方で、「東部」のみや「物部川」のみなどが少なくなっている。

3-1-7. 高知県

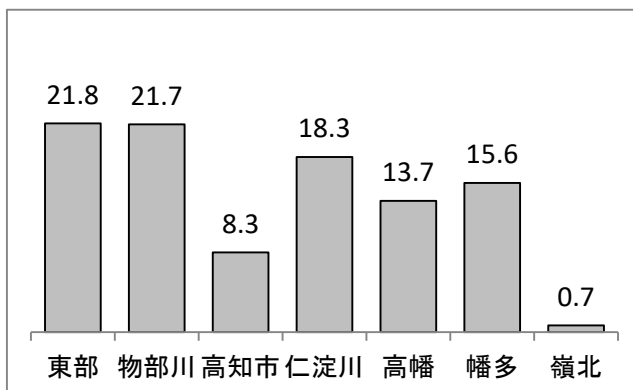
(表 3-19)周遊ルート上位 10 位(件・%) [県内]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
東部	200	21.0%
物部川	195	20.5%
仁淀川	149	15.7%
幡多	138	14.5%
高幡	113	11.9%
高知市	66	6.9%
仁淀川 → 高幡	22	2.3%
高幡 → 幡多	10	1.1%
幡多 → 高幡	9	0.9%
(対象多数のため省略)	7	0.7%

県内旅行者 951 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみで観光を終える割合が 21.0%と最も多く、次いで、「物部川」のみが 20.5%、「仁淀川」のみが 15.7%、「幡多」のみが 14.5%と続いており、単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位6位まで、割合では 90.5%と大半を占めている。

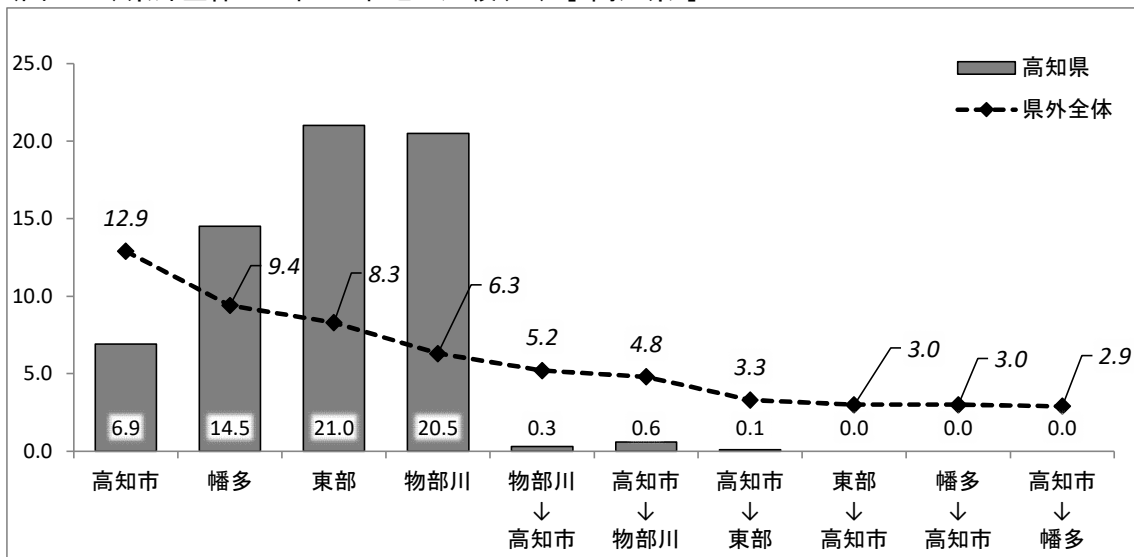
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「仁淀川→高幡」が 2.3%、「高幡」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートが合計 2.0%となっているが、その割合はいずれも非常に少なくなっている。

(図 3-20)周遊ルート of 玄関口(%) [高知県]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「東部」が 21.8%と最も多く、次いで、「物部川」が 21.7%、「仁淀川」が 18.3%、「幡多」が 15.6%、「高幡」が 13.7%、「高知市」が 8.3%、「嶺北」が 0.7%と続いている。

(図 3-21)県外全体の上位 10 位との比較(%) [高知県]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」をのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートが目立って多くなっている一方で、「高知市」のみが目立って少なく、他エリアへの移動を伴う周遊ルートはごくわずかとなっている。

3-2. 旅行形態別周遊ルート

3-2-1. 家族

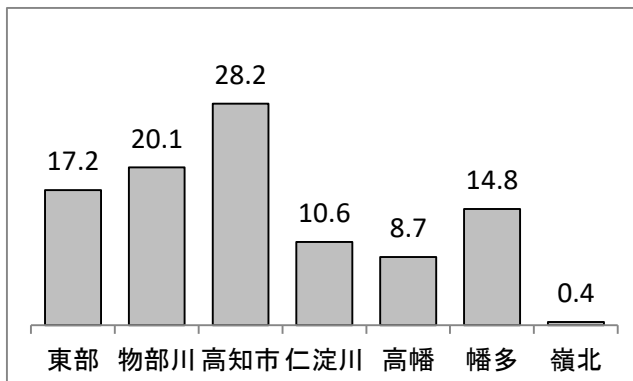
(表 3-22)周遊ルート上位 10 位(件・%) [家族]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
物部川	337	12.1%
高知市	311	11.1%
東部	293	10.5%
幡多	244	8.7%
高幡	147	5.3%
仁淀川	145	5.2%
高知市 → 物部川	126	4.5%
物部川 → 高知市	125	4.5%
高知市 → 東部	73	2.6%
高知市 → 幡多	69	2.5%

家族旅行 2,792 組の周遊ルートを見ると、「物部川」のみで観光を終える割合が 12.1%と最も多く、次いで、「高知市」のみが 11.1%、「東部」のみが 10.5%、「幡多」のみが 8.7%と続いており、単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位6位までを占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが合計 9.0%、「高知市→東部」が 2.6%、「高知市→幡多」が 2.5%と続いている。

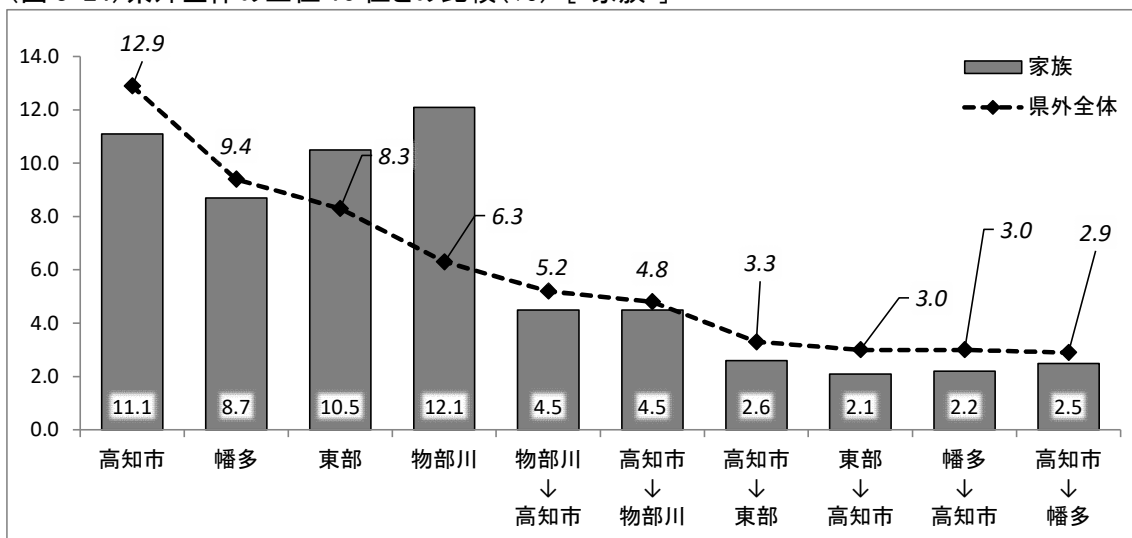
(図 3-23)周遊ルート of 玄関口(%) [家族]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 28.2%と最も多く、次いで、「物部川」が 20.1%、「東部」が 17.2%、「幡多」が 14.8%、「仁淀川」が 10.6%、「高幡」が 8.7%、「嶺北」が 0.4%と続いている。

なお、各旅行形態と比較すると、「物部川」の割合が最も多くなっている(P164:参考 1)。

(図 3-24)県外全体の上位 10 位との比較(%) [家族]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「物部川」の単一エリアで観光を終える周遊ルートが目立って多くなっている一方で、「高知市」のみや他エリアへの移動を伴う周遊ルートなどが少なくなっている。

3-2-2. 友人・知人

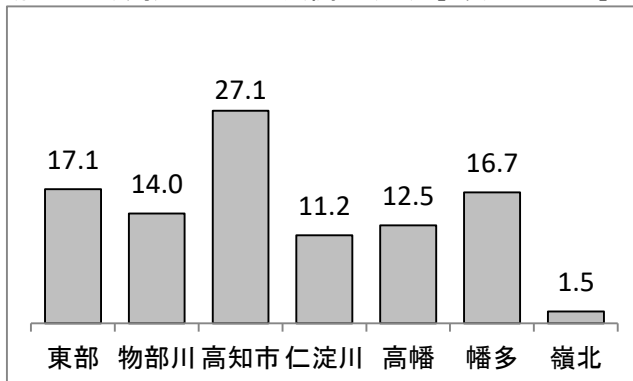
(表 3-25)周遊ルート上位 10 位(件・%) [友人・知人]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	52	11.0%
東部	49	10.4%
幡多	47	9.9%
物部川 → 高知市	24	5.1%
高幡	24	5.1%
物部川	21	4.4%
仁淀川	20	4.2%
東部 → 高知市	15	3.2%
高知市 → 物部川	14	3.0%
幡多 → 高知市	14	3.0%

友人・知人との旅行者 473 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 11.0%と最も多く、次いで、「東部」のみが 10.4%、「幡多」のみが 9.9%、「物部川→高知市」と「高幡」のみが 5.1%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが合計 8.1%、「東部→高知市」が 3.2%、「幡多→高知市」が 3.0%となっている。

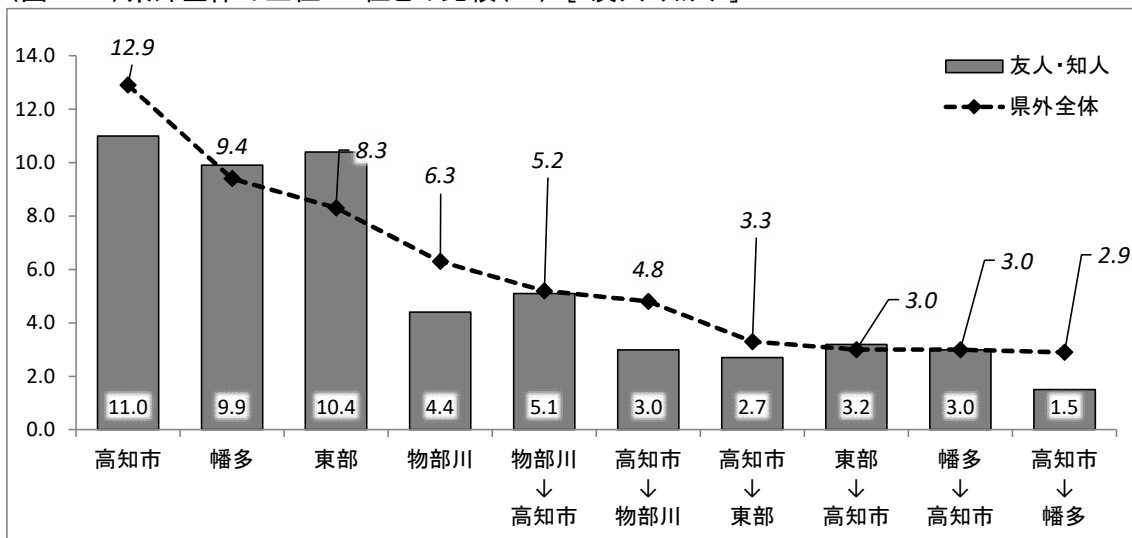
(図 3-26)周遊ルート of 玄関口(%) [友人・知人]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 27.1%と最も多く、次いで、「東部」が 17.1%、「幡多」が 16.7%、「物部川」が 14.0%、「高幡」が 12.5%、「仁淀川」が 11.2%、「嶺北」が 1.5%と続いている。

なお、各旅行形態と比較すると、「高幡」と「嶺北」の割合が最も多くなっている(P164:参考 1)。

(図 3-27)県外全体の上位 10 位との比較(%) [友人・知人]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「東部」、「幡多」の単一エリアで観光を終える周遊ルートなどが多くなっている一方で、「高知市」のみ、「物部川」のみ、「高知市→物部川」などが少なくなっている。

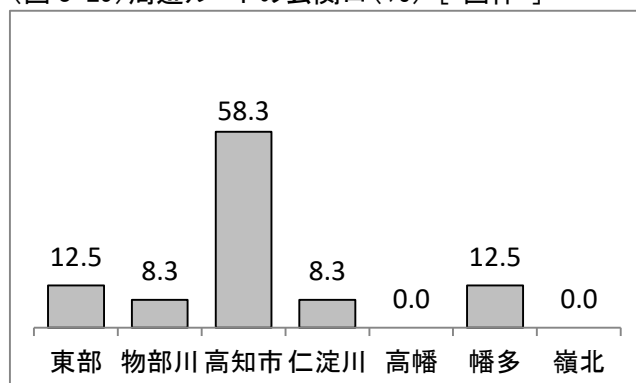
3-2-3. 団体

(表 3-28)周遊ルート上位6位 (件・%) [団体]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	5	20.8%
幡多	2	8.3%
東部 → 高知市	2	8.3%
高知市 → 東部	2	8.3%
高知市 → 物部川	2	8.3%
(対象多数のため省略)	1	4.2%

団体旅行 24 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 20.8%と最も多く、次いで、「幡多」のみ、「東部→高知市」、「高知市→東部」、「高知市→物部川」が 8.3%、その他の周遊ルートが 4.2%と続いている。

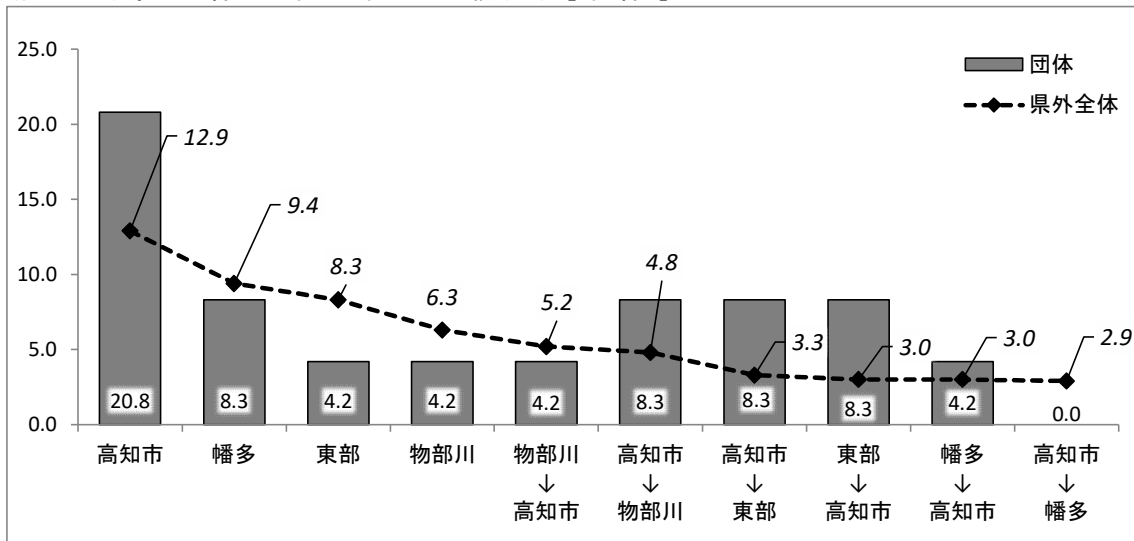
(図 3-29)周遊ルートの玄関口(%) [団体]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 58.3%と最も多く、次いで、「東部」と「幡多」が 12.5%、「物部川」と「仁淀川」が 8.3%と続いている。

なお、各旅行形態別と比較すると、「高知市」の割合が最も多くなっている(P164: 参考 1)。

(図 3-30) 県外全体の上位 10 位との比較(%) [団体]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」の単一エリアで観光を終える周遊ルート、「高知市」と「東部」を組み合わせた周遊ルートが目立って多くなっている一方で、「東部」のみや「高知市→幡多」などが少なくなっている。

3-2-4. 一人

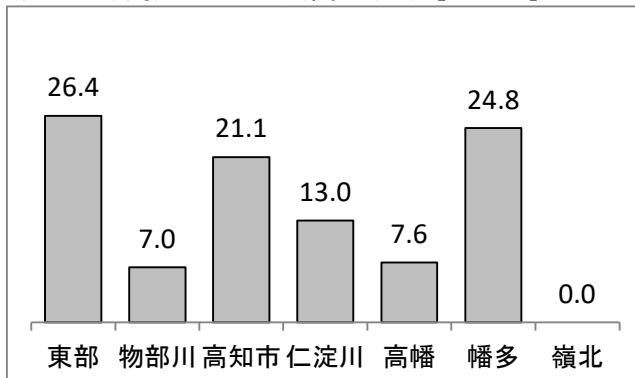
(表 3-31)周遊ルート上位 10 位(件・%) [一人]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	人数	割合
幡多	123	18.0%
東部	106	15.5%
高知市	85	12.5%
仁淀川	70	10.3%
高幡	27	4.0%
物部川	24	3.5%
東部 → 高知市	17	2.5%
東部 → 物部川 → 高知市	16	2.3%
高知市 → 東部	15	2.2%
幡多 → 高知市	15	2.2%

一人旅の旅行者 682 人の周遊ルートをみると、「幡多」のみで観光を終える割合が 18.0%と最も多く、次いで、「東部」のみが 15.5%、「高知市」のみが 12.5%、「仁淀川」のみが 10.3%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位6位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「東部」を組み合わせた周遊ルートが合計 4.7%、「東部→物部川→高知市」が 2.3%、「幡多→高知市」が 2.2%となっている。

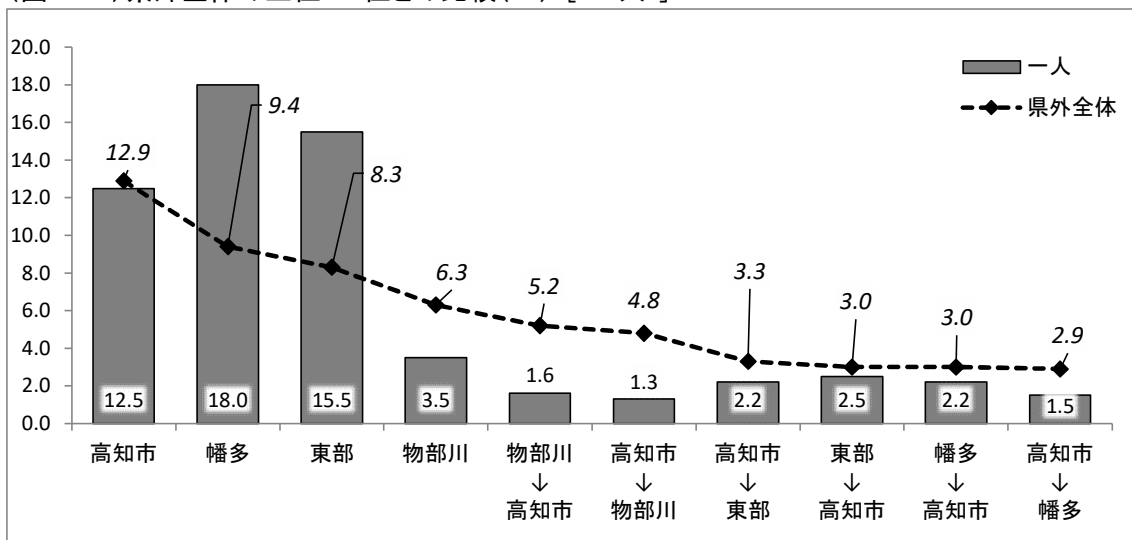
(図 3-32)周遊ルート of 玄関口(%) [一人]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「東部」が 26.4%と最も多く、次いで、「幡多」が 24.8%、「高知市」が 21.1%、「仁淀川」が 13.0%、「高幡」が 7.6%、「物部川」が 7.0%と続いている。

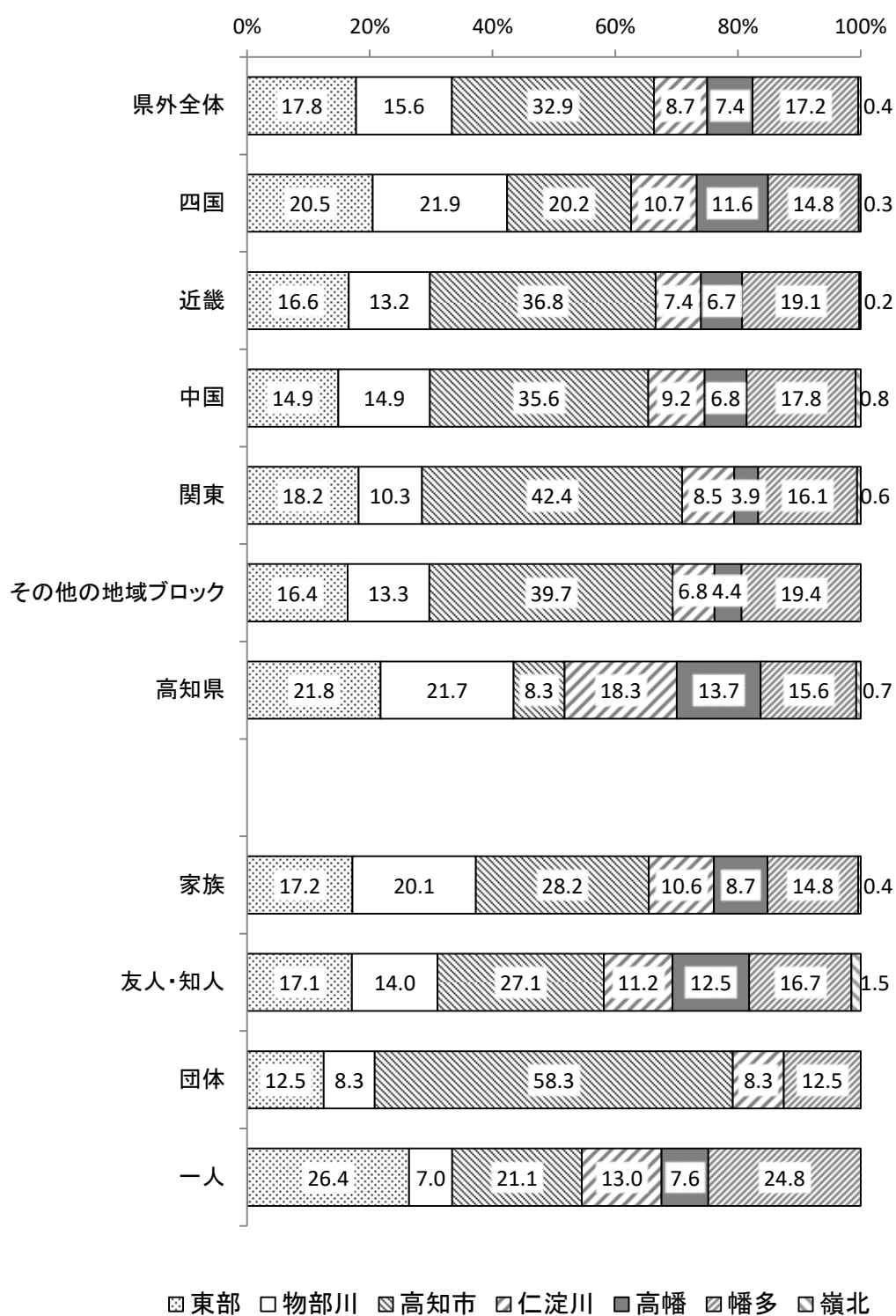
なお、各旅行形態と比較すると、「東部」、「仁淀川」、「幡多」の割合が最も多くなっている(P164: 参考 1)。

(図 3-33)県外全体の上位 10 位との比較(%) [一人]

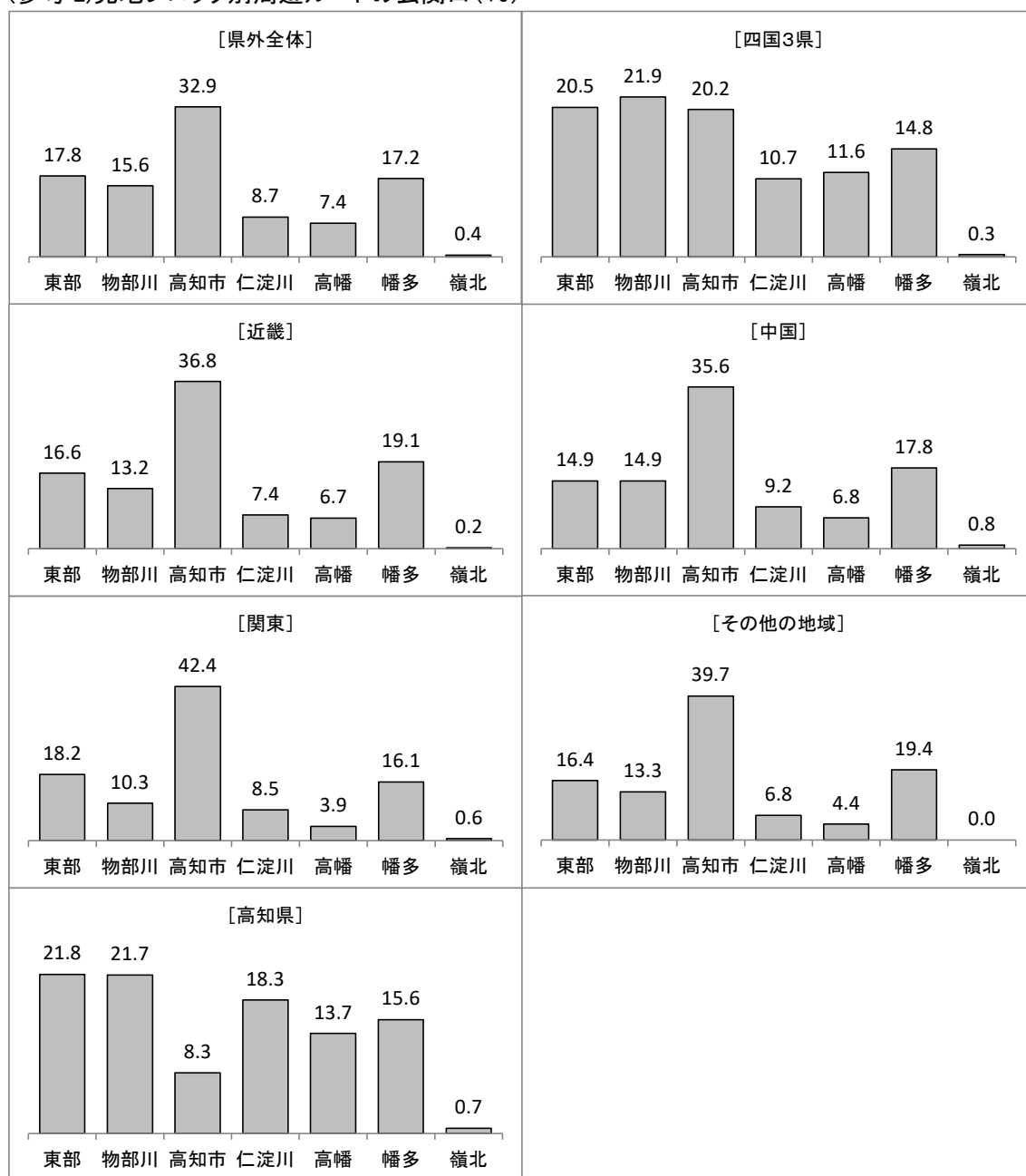


県外全体の上位 10 位との比較をみると、「幡多」と「東部」の単一エリアで観光を終える周遊ルートが目立って多くなっている一方で、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートや「物部川」のみなどが少なくなっている。

(参考 1)発地ブロック別・周遊旅行形態別周遊ルート of 玄関口 (%)



(参考 2)発地ブロック別周遊ルート of 玄関口 (%)



(参考 3)旅行形態別周遊ルートの玄関口(%)

